

第二十三回

熊本城（熊本県熊本市）

「泉」 代表 木下 節子 選

熊本市賞

復興の兆し清水の湧き出でし

福岡県大野城市 織畠 幸子

特選二句

夏陽受け櫓とクレーン競い立つ

熊本県熊本市 角田 光明

漱石の足跡たどる夏の果て

福岡県大野城市 富田 伊公子

投句総数 二四句

開函日 平成二十八年七月三十一日

第二十三回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「泉」 代表 木下 節子 選

奈良・斑鳩町賞

天平の薨をたたく喜雨の音

奈良県北葛城郡 荻野 鷹生

特選三句

炎昼や眼光強き仁王像

奈良県大和高田市 今井 利治

雲の峯翼下はるかに真珠湾

奈良県生駒郡 内田 良平

走り根は杜の血脈青嵐

奈良県天理市 松田 吉上

投句総数 一二〇句

開函日 平成二十八年七月三十一日

第二十三回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「泉」 代表 木下 節子 選

子規はいく賞

めいじ村めがねばしからのぞく夏

愛知県名古屋市 有田 羽名

漱石になりきる髭や風薫る

岐阜県本巣市 板垣 道代

陸蒸気とろりとろりと村薄暑

愛知県東海市 斉藤 浩美

特選三句

上海の日傘をさして坂のぼる

愛知県北名古屋市 東 恭子

梅雨の傘忘れて来たり蝸牛庵

愛知県名古屋市 後藤 春子

楠若葉ハイカラ号のバスを待つ

愛知県春日井市 萩原 空木

投句総数 一六九句

開函日 平成二十八年七月三十一日

第二十三回

子規庵（東京都台東区）

「泉」 代表 木下 節子 選

特選三句

蚊遣焚く子規の小庭の出入口

愛知県名古屋市 伊藤 範子

パナマ帽文学散歩の伴をする

東京都江東区 白井 佳織

糸瓜忌や電燈の紐垂れてをり

東京都町田市 友野 瞳

投句総数 四三句

開函日 平成二十八年七月三十一日

第二十三回

記念艦「三笠」（神奈川県横須賀市）

「泉」 代表 木下 節子 選

特選二句

初夏の風時の波濤を越えてなお

群馬県前橋市 佐藤 真寛

紫陽花の小径行き交ふ風の声

東京都江東区 諸伏 昌恵

投句総数 一一句

開函日 平成二十八年七月三十一日

第二十三回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「泉」 代表 木下 節子 選

特選三句

炎昼や大和と写る誕生日

愛媛県松山市 高森 久美恵

海に果て宇宙へ駆ける大和かな

愛媛県松山市 平野 誉洸

軍港も空も梅雨色してゐたり

奈良県北葛城郡 松浦 千賀子

投句総数 五九句

開函日 平成二十八年七月三十一日

第二十三回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「泉」 代表 木下 節子 選

特選三句

紫陽花の枝こすりつつ電車ゆく

東京都新宿区 大畑 雅敬

あじさいや降りみ降らずみ夏目坂

東京都品川区 鏡 俊一

夏近し超新星の輝けり

東京都墨田区 齊藤 守

投句総数 五六句

開函日 平成二十八年七月三十一日

第二十三回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「泉」 代表 木下 節子 選

特選二句

鯉泳ぐ磐梯の山雪残る

東京都杉並区 小野寺 洋

新緑の会津の風を胸にうけ

埼玉県草加市 山下 次雄

投句総数 九〇句

開函日 平成二十八年七月三十一日

第二十三回

東松山市（埼玉県東松山市）

「泉」 代表 木下 節子 選

特選句

汗拭う藍職人の爪の藍

埼玉県東松山市 新井 基文

葦陰に哲学の目や蟄

埼玉県比企郡 大橋 溥明

減反を埋めて真白き蕎麦の花

埼玉県東松山市 原 健三

投句総数 三五句

開函日 平成二十八年七月三十一日

第二十三回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「泉」 代表 木下 節子 選

特選三句

雷雲が追いかけてくるハイウェイ

東京都足立区 佐藤 泰祥

魚の腹光りて消ゆる噴井かな

埼玉県上尾市 萩原 陽里

子規しのび団子屋に座す月のころ

神奈川県鎌倉市 渡辺 一弘

投句総数 六九句

開函日 平成二十八年七月三十一日